

平成24年度 施策評価シート（評価時点：H23年度末）

【1. 施策名】

施策コード	221-01	基本施策	省資源・資源循環の促進	所管部局	環境部
施策名	エネルギーの適正利用			主担当課	環境政策課
				関係部局課	総務部庶務課、保健福祉部保育家庭支援課、商工観光部観光振興課、教育委員会生涯学習課
施策の目標	市有施設をはじめ、家庭や事業所における省エネルギーを促進するとともに、積極的に再生可能エネルギー等を活用することにより、限りある資源の有効利用を目指します。				

【2. 施策に取り組む理由】

理由

- 再生可能エネルギー利用について意識が高まっており、太陽光発電システム設置補助件数の顕著な増加が見られるとともに、太陽熱利用等その他の取組に対する支援要望が寄せられている。
- 省エネ機器への買い替えなど、社会的に省エネに対する関心が高まっており、特に東日本大震災以後は節電などの具体的な省エネ行動に結びついている。

【3. 目標達成、課題解決に向けた方法、市の役割】

方法・役割

市、家庭、事業所における地球温暖化防止に関する実行計画として策定した長野市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、市有施設における省エネルギー・再生可能エネルギー利用をはじめ、同計画に掲げる各種事業を推進するとともに、市民、事業者の取組を促進するための啓発及び支援を行う。

【4. 取組・成果】

これまでの主な取組

- 住宅向けの太陽光発電システム設置補助事業を実施しており、H21年度の国の補助制度再開や余剰電力の買取開始を境に補助件数が顕著に増加している。また、事業者向け補助についても、H21年度から追加している。
- 市有施設への太陽光発電システム設置については、市役所温暖化防止実行計画に基づき新設の建物への設置や既存建物への率先導入を盛り込むとともに、グリーンニューデール基金の活用により設置が促進された。
- 空調設備、キュービクル等、市有施設の耐震改修等に併せ、省エネ機器の導入を図った。
- グリーンニューデール基金の活用により、太陽光発電システム、バイオマスボイラー、ペレットストーブの導入等、再生可能エネルギーの積極的な利用を図るとともに、商店街街路灯の整備及び市有施設の照明の高効率化等、省エネ改修が促進できた。
- 温暖化防止の啓発拠点として、長野市地球温暖化防止活動推進センターを開設している。

取組の成果目標	H22		H23			最終目標	
	目標値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標年度	
太陽光発電量（住宅用）（累計）	8,800		18,900	17,186		53,200	
（↑件数・数値の増加を目標とする指標）	単位	kW	達成率	90.9	%	目標年度	H32
太陽光発電量（公共施設・事業所等）（累計）	1,500		1,600	1,184		4,240	
（↑件数・数値の増加を目標とする指標）	単位	kW	達成率	74.0	%	目標年度	H32
			目標値				
			実績値				
	単位		達成率		%	目標年度	

【5. 達成状況の評価】

評価ランク A: 目標以上 B: 概ね目標通り C: 一部に努力を要する D: 全体的に努力を要する

施策目標の達成状況	判断理由・説明等
B	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電システムの設置補助については、利用状況を見ながら補正予算による対応を行うとともに、H23年度は、設置費用の低下に伴い補助単価を引き下げた。 グリーンニューデール基金を活用し、再生可能エネルギーの導入や省エネ改修を促進した。 太陽光発電システム設置補助制度、グリーンニューデール基金の活用など、波及効果の大きい事業を優先して実施している。
概ね目標通り	<ul style="list-style-type: none"> 地域推進計画の目標達成に向けては、事業を推進するための具体的なスキームの検討が不十分であり、庁内関係部局の理解と協力の下で、一層の推進を図る必要がある。 市民・事業者への取組の拡大のためには、柔軟で継続的な啓発が必要であり、拠点としての温暖化防止活動推進センター設置は有効である。

【6. 施策を構成する主な事務事業】

No.	事務事業名 [事業区分] 担当課名	年度	事業費 (H24予算額) (千円)	事務事業の概要	成果評価	方針
1	温暖化防止企画・調査 [内部管理的事業・その他] 環境政策課	21	6,806	長野市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、省エネルギー、再生可能エネルギーの利活用について、各種事業の推進と新たな手法・技術等の調査・研究を行う。	C	継続
		22	3,392			
		23	1,249			
		24	10,064			
2	太陽光発電システム普及促進事業補助金 [補助金・金銭給付事業] 環境政策課	21	78,749	再生可能エネルギー導入促進のため、個人住宅、店舗等に設置する太陽光発電システムの経費の一部を補助する。	A	継続
		22	146,501			
		23	137,950			
		24	158,424			
3	小水力発電 [公共施設管理運営事業] 環境政策課	21	1,161	温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの利用として小水力発電を導入する。 ・大岡浅刈 H19 建設 ・奥裾花 H20～22 基礎調査	C	継続
		22	609			
		23	827			
		24	1,104			
4	バイオマス利活用 [内部管理的事業・その他] 環境政策課	21	6,921	バイオマスタウン構想に基き、地球温暖化防止、中山間地域の活性化、新たな産業の創出などをめざし、バイオマス資源の有効活用を図る。	B	拡充
		22	15			
		23	109			
		24	650			
5	地球温暖化防止活動推進センター補助金 [サービス提供事業] 環境政策課	21	0	地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、啓発活動の拠点として長野市地球温暖化防止活動推進センターを指定し、補助金を交付する。	B	継続
		22	7,722			
		23	8,392			
		24	9,000			
6	(GND基金)商店街街路灯の建替及び改修補助金 [補助金・金銭給付事業] 産業政策課	21	0	GND基金を活用し、商店街街路灯の建替及び照明器具の改修を実施するもの ・吉田横町昌栄会 他30商店会	B	縮小
		22	19,580			
		23	100,404			
		24	18,300			
7	奥裾花小水力発電整備事業 [建設・改修整備事業] 観光振興課	21	0	無電化地域である奥裾花自然園に小水力発電施設を整備し、観光振興及び利用者の利便性向上を図るもの		継続
		22	0			
		23	11,457			
		24	605			

事務事業	事業費 (H24予算額) の計	事業数の計
施策を構成する全事務事業	199,047	8
施策を構成する主な事務事業	198,147	

※主な事務事業以外の事業の概要等は、施策構成事務事業に記載

【7. 事務事業の構成に関する評価】

評価ランク A:効果的である B:一部見直しが必要 C:効果的ではなく見直しが必要

視点	評価	評価理由・説明等
事務事業の構成優先順位は目標の達成に向けて効果的であるか	B 一部見直しが必要	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電システムの設置については目標以上に普及しているが、小水力発電設備の設置については、拡大に向け民間への支援策も含めた検討が必要である。また、バイオマス利活用については、検討組織による具体化に向けた調査研究を開始した段階である。 グリーンニューディール基金の創設、活用により、一時的に本施策が促進されたが、今後の継続的な推進のためには、安定的な財源の確保と効率的・計画的な取組が必要である。

【8. 今後の展開】

課題	課題解決に向けた具体的な取組
1 再生可能エネルギーの利用、省エネルギーの取組を推進するためには、庁内各部署の協力・連携が不可欠である。	再生可能エネルギーの導入に当たっては、各部署の協力を得つつ、他部署の施策との関連性に着目し、必要性の高い事業を優先的に実施するとともに、民間活力を積極的に活用する中で推進することが必要である。
2	
施策展開の方向性 (H24年度以降)	省エネルギーと再生可能エネルギーの活用促進による地球温暖化対策は、国の重要な施策であり、本市においても今後の重点的な取組が必要となる。

平成23年度 施策構成事務事業

No.	事務事業名 [事業区分] 担当課名	年度	事業費 (H24予算額) (千円)	事務事業の概要	成果評価	方針
8	信州環境フェア負担金 [補助金・金銭給付事業] 環境政策課	21	900	地球温暖化防止等に係る啓発を目的とし、長野市内で開催される「信州環境フェア」実行委員会に負担金を支出する。	A	継続
		22	900			
		23	900			
		24	900			
9	国補・グリーンニュー ディール基金積立金 [内部管理的事業・その他] 環境政策課	21	0	グリーンニューディール基金積立金運用益（利子）を同基金へ積み立てる。【H21～23までの時限的なもの】	A	廃止
		22	250			
		23	271			
		24	0			
10	(GND基金)庁舎太陽光発電 装置等設置事業 [建設・改修整備事業] 庶務課	21	0	GND基金を活用し、市有施設への太陽光発電システムの設置、省エネ改修等を実施するもの ・浅川支所・公民館 太陽光発電システム設置、照明器具高効率化 ・更北支所 ペレットストーブ設置	A	廃止
		22	1,287			
		23	23,625			
		24	0			
11	(GND基金)象山保育園太陽 光発電システム設置 [建設・改修整備事業] 保育家庭支援課	21	0	GND基金を活用し、園舎への太陽光発電システムの設置、省エネ改修（照明器具高効率化）を実施するもの	A	廃止
		22	0			
		23	11,367			
		24	0			
12	(GND基金)更北公民館太陽 光発電装置等設置事業 [建設・改修整備事業] 生涯学習課	21	0	GND基金を活用し、公民館への太陽光発電システムの設置、省エネ改修（照明器具高効率化）を実施するもの	A	廃止
		22	494			
		23	22,365			
		24	0			
13	(GND基金)保科温泉バイ オマスボイラー設置 [建設・改修整備事業] 観光振興課	21	0	温泉水の加温のため、バイオマスボイラーを導入し、ペレットの普及拡大、エネルギーの地産地消を進める。	A	廃止
		22	2,343			
		23	38,561			
		24	0			
14		21				
		22				
		23				
		24				
15		21				
		22				
		23				
		24				
16		21				
		22				
		23				
		24				
17		21				
		22				
		23				
		24				
18		21				
		22				
		23				
		24				
19		21				
		22				
		23				
		24				
20		21				
		22				
		23				
		24				
21		21				
		22				
		23				
		24				
22		21				
		22				
		23				
		24				
23		21				
		22				
		23				
		24				

No.	事務事業名 [事業区分] 担当課名	年度	事業費 (H24予算額) (千円)	事務事業の概要	成果評価	方針
24		21				
		22				
		23				
		24				
25		21				
		22				
		23				
		24				
5		21				
		22				
		23				
		24				
27		21				
		22				
		23				
		24				
28		21				
		22				
		23				
		24				
29		21				
		22				
		23				
		24				
30		21				
		22				
		23				
		24				
31		21				
		22				
		23				
		24				
32		21				
		22				
		23				
		24				
33		21				
		22				
		23				
		24				
34		21				
		22				
		23				
		24				
35		21				
		22				
		23				
		24				
36		21				
		22				
		23				
		24				
37		21				
		22				
		23				
		24				
38		21				
		22				
		23				
		24				
39		21				
		22				
		23				
		24				
40		21				
		22				
		23				
		24				